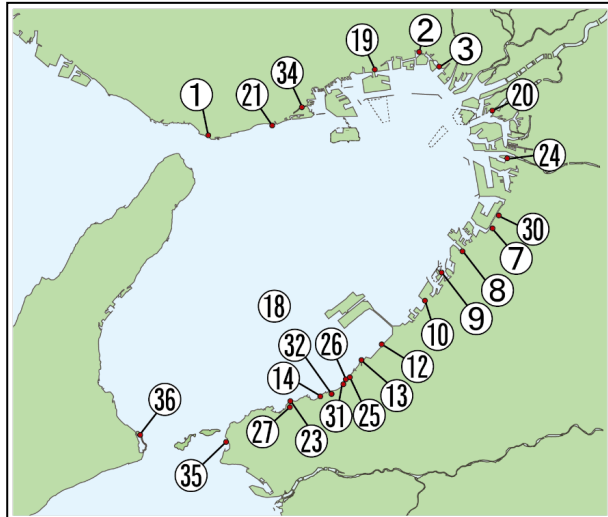


令和4年度 第15回大阪湾生き物一斉調査について

1. 調査概要

令和4年度は、5月28日を中心に、大阪湾沿岸域の24地点と大阪湾内（スナメリ調査）において、28団体、1,134名が参加して、第15回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。



【大阪府内】

調査地点	担当団体
20	天保山 海遊館[5/28]
24	堺浜自然再生ふれあいビーチ (公社)大阪自然環境保全協会(堺浜自然観察会)[5/29]
30	浜寺水路 浜寺公園自然の会[5/17]
7	高師浜 浜寺公園自然の会[5/29]
8	大津川河口(左岸) きしわだ自然資料館[5/28]
9	阪南2区造成干潟 きしわだ自然資料館[5/29]
10	近木川河口 貝塚市立自然遊学館[5/28]
12	榎井川河口・岡田浦海岸 男里川干潟を守る会[5/28]
13	男里川河口干潟 男里川干潟を守る会[6/4]
	尾崎小学校、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/17]
25	尾崎海岸 上荘小学校、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/13]
	西鳥取小学校、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/16]
26	波有手海岸 プロロジス、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[5/13]
31	西鳥取海岸 セブン-イレブン記念財団、阪南市、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/12]
	舞小学校、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/28]
32	箱作自然海岸 下荘小学校、チーム☆ガサ、NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター[6/30]
14	せんなん里海公園 里海くらぶ連絡協議会[6/11]
23	長松海岸 (公社)大阪自然環境保全協会(空の会)[5/18]
18	大阪湾[スナメリ調査] 大阪ECO動物海洋専門学校、海遊館[5/11]
27	深日漁港干潟 岬町立岬中学校科学部、(一社)大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア事務局[5/28]

【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1	アジュール舞子 須磨海浜水族園ボランティア[5/28]
21	須磨海岸 須磨里海の会[6/4]
34-2	兵庫運河(新川橋河口) 兵庫・水辺ネットワーク[5/18、7/15]
34-3	兵庫運河(浜山小学校前養浜) 兵庫運河の自然を再生するプロジェクト[6/16]
19	住吉川河口 須磨里海の会[6/18]
2	香櫛園浜 西宮市貝類館[6/17、18]
3	甲子園浜 NPO法人 海浜の自然環境を守る会[6/13、14]
36	成ヶ島 (公社)大阪自然環境保全協会(海のふしぎ観察会)[7/31]

【和歌山県内】

調査地点	担当団体
35	城ヶ崎(加太) (公社)大阪自然環境保全協会(海のふしぎ観察会)[5/28]

図1 令和4年度の調査地点一覧

【大阪湾海岸生物ウェルカムリスト（無脊椎動物・海藻・海草、2022年版）※】

大阪湾海岸生物ウェルカムリストとは、大阪湾の環境改善や干潟・藻場等の整備等の大阪湾再生の取り組みにより、大阪湾において、今後、新たに定着あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定したリストのことです。以下のとおりランク付けしています。

A：大阪湾内では近年（1950年代以降）の記録が無い（ただし近隣海域では記録されている）

か、記録がごく限られていて、生育・生息基盤が脆弱であると考えられる種。〔目安として、文献等による記録・情報が0～2箇所以下〕

B：大阪湾内では産地が限られていて、今後分布の拡大が期待される種。〔同3～5箇所〕

C：大阪湾内では多数の地点で記録され、かつ良好な環境（水質・底質・地形）*の目安となる種。

〔同6箇所以上〕

*大阪湾再生行動計画（第二期）では、目標要素「豊かな魚庭（なにわ）の海」の施策の一つとして、「藻場、干潟、浅場、緩傾斜護岸等の整備」を掲げています。

このため、大阪湾再生行動計画に基づいて取り組まれている湾内の水質改善と干潟、砂浜、藻場、浅場、親水護岸等の整備によって期待される生物にとって好ましい環境を対象としました。

2. 出現種

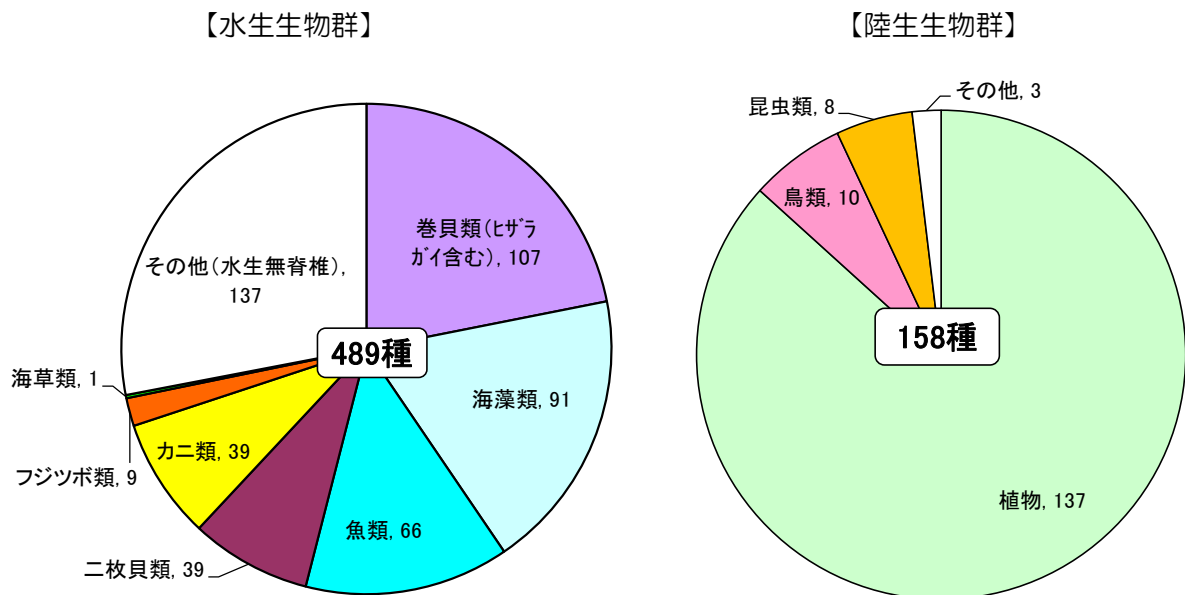
本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を図2、表1に示しました。

種名まで判別した種類は全体で647種（うち、調査シート掲載種41種）でした。

全体の出現種については、水生生物群では、海藻類及び海草類が92種、動物は貝類が146種（巻き貝107種、二枚貝39種）、魚類が66種、カニ類が39種等でした。また、陸生生物群では、陸上植物が137種、鳥類が10種、昆虫類が8種等でした。

出現種のうち、大阪湾海岸生物ウェルカムリストに該当した種類は、Aランクが海藻類のエナシダシア、多毛類のイソタマシキゴカイ、巻き貝類のイボキサゴ及びカニ類のマキトラノオガニの4種、Bランクが海藻類のマキヒトエ、カゴメノリ、ホソアヤギヌ、貝類のイボウミニナ、サクラガイ、カニ類のトリウミアカイソモドキ等の20種、Cランクが海草類のアマモ、貝類のウミニナ、オオノガイ、カニ類のコメツキガニ等の49種で、合計73種でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2020年）に掲載されている種に該当するものを付表1に示しました。全体の貴重種としては91種類（属含む、陸生種除く）が該当しました。このうち、海藻・海草類はスジアオノリ、ホソアヤギヌ、アマモの3種、動物では、貝類がアマガイ、イボキサゴ、カノコガイ、シロイトカケギリ、サクラガイ、ニッポンマメアゲマキガイ等の42種、多毛類がイソタマシキゴカイ、タマシキゴカイ等の5種、カニ類はウモレマメガニ、ハクセンシオマネキ、マキトラノオガニ等の20種、魚類はアユ等の4種、その他はシャミセンガイ属、スジホシムシモドキ、ハルマンズナモグリ等の11種等でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊動物を含む。

図2 令和4年度出現種の分類群別種数（全体）

表1 (1) 令和4年度出現種一覧

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL		
海藻類	緑藻類	1	アオサ科		海藻類(続き)	紅藻類(続き)	81	ツノマタ	
		2	アオサ属(アオサ型)				82	ツノマタ属	
		3	アオサ属(アオリ型)				83	ツノムカデ	
		4	アナアオサ				84	ツルシラモ	
		5	ウスバアオリ				85	ツルツル	
		6	カイゴロモ				86	トサカマツ	
		7	シオグサ科				87	ニクムカデ	
		8	シオグサ属				88	ハウスバノリ属	
		9	ジュズモ属				89	ハネイギス	
		10	スジアオリ				90	ヒトツマツ	
		11	ハネモ				91	ヒメテングサ	
		12	ヒトエグサ			92	ヒライボ		
		13	ヒメアオリ属			93	ヒラムカデ		
		14	ヒラアオリ			94	ピリヒバ		
		15	ボウアオリ			95	フクロフノリ		
		16	ボタンアオサ			96	フシツナギ		
		17	マキヒトエ	B		97	フダラク		
		18	ミル			98	ベニスナゴ		
		19	ランソウモドキ属			99	ホソアヤギヌ	B	
	褐藻類	20	アカモク			100	ホソバノヒラサイミ		
		21	アミジグサ			101	マクサ		
		22	イシゲ			102	マツノリ		
		23	イソイワタケ			103	マツバライギス		
		24	イソモク			104	ミノオゴノリ		
		25	イロロ			105	ムカデノリ		
		26	イワヒゲ			106	ムカデノリ属		
		27	ウミウチワ			107	モサズキ属		
		28	ウミトラノオ			108	ユカリ		
		29	カゴメノリ	B		109	紅藻類		
		30	カジメ			110	藍藻類		
		31	カヤモノリ			1	アマモ	C	
		32	サナダグサ			1	Crocus属	C	
		33	シオミドロ科			2	アイアシ		
		34	シダモク			3	アオカモジグサ		
		35	シワノカワ			4	アカメガシワ		
		36	シワヤハズ			5	アキノゲシ		
		37	セイヨウハバノリ			6	アキノミチヤナギ		
		38	タマハハキモク			7	アケビ		
		39	ネハリモ			8	アメリカネナシカズラ		
		40	ハバモドキ			9	アメリカフウロ		
		41	ヒジキ			10	アレチギンギン		
		42	ヒラネジモク			11	アレチノギク		
		43	フクリンアミジ			12	アロエ属		
		44	フクロノリ			13	イタドリ		
		45	フトモズク	B		14	イヌタデ属		
		46	ヘラヤハズ			15	イヌビエ		
		47	ヤハズグサ			16	イヌビワ		
		48	ヨレモクモドキ			17	イヌホオズキ		
		49	ワカメ			18	イヌムギ		
		紅藻類	50	アマリ属			19	イヨカズラ	
	51		インダンツウ			20	ウシハコベ		
	52		イトグサ属			21	ウバメガシ		
	53		イバラノリ			22	エノキ		
	54		イワノカワ科			23	エノログサ		
	55		エチゴカニノテ			24	エビヅル		
	56		エナシダリア	A		25	エンドウ		
	57		オオオゴノリ			26	オオオナモミ		
	58		オオバツノマタ			27	オオフタバムグラ		
	59		オオマタオキツリ			28	オオフタクサ		
	60		オキツノリ			29	オカヒジキ		
	61		オゴノリ			30	オンロイバナ		
	62		オハクサ			31	オツタチカタハミ		
	63		カイノカワ			32	オニグルミ		
	64		カイノリ			33	オニタビラコ		
	65		カギウスバノリ			34	オニヤフソテツ		
	66		カハノリ			35	オランダミミナグサ		
	67		キフリイトグサ			36	カタハミ		
	68		キョウノヒモ			37	カナムグラ		
	69		クロソ			38	カニクサ		
	70		コザネモ			39	カネノナルキ		
	71		コスジフシツナギ			40	カボチャ		
	72		コメノリ			41	カミツレモドキ		
	73		サンゴモ目			42	カモジグサ		
	74		シキンノリ	B		43	カラスノエンドウ		
	75		ショウジョウケノリ			44	カラスムギ		
	76		シラモ			45	カワラヨモギ		
	77		スギノリ			46	ギンギン		
	78		ススカケベニ			47	キツネノボタン		
	79		タオヤギソウ			48	ギョウギシバ		
	80		タンバノリ			49	クサスギカズラ		

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。
 3) 種まで同定されていないもの(種数に含めない)。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする。

表1(2) 令和4年度出現種一覧

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL		
植物(続き)	50	クズ		植物(続き)	130	メドハギ			
	51	コウボウシバ			131	メシバ			
	52	コウボウムギ			132	メマツヨイグサ			
	53	コセンダングサ			133	ヤエムグラ			
	54	コニシキソウ			134	ヤツテ			
	55	コバノタツナミ			135	ヤブカラシ			
	56	コバンソウ			136	ヤブジラミ			
	57	コマツヨイグサ			137	ヤマノイモ			
	58	コマツブウマゴヤシ			138	ヨウシュヤマゴボウ			
	59	コモチナデシコ			139	ヨシ			
	60	コモチマンネングサ			140	ヨモギ			
	61	サナエタデ			141	ランタナ			
	62	サルトリイバラ			142	ワラビ			
	63	ジシバリ			貝類	ヒザラガイ類	1	ウスヒザラガイ	
	64	シナダレスズメガヤ					2	ウスヒザラガイ科	
	65	シバ属					3	ケハダヒザラガイ	
	66	シャリンバイ					4	サメハダヒザラガイ属	
	67	シロザ					5	ニシキヒザラガイ	
	68	シロバナセンダングサ					6	ハバガセ	
	69	シロバナマンテマ					7	ヒザラガイ	
	70	スイカズラ					8	ヒメケハダヒザラガイ	
	71	スイバ					9	ヤスリヒザラガイ	
	72	ススキ			巻き貝類	10	Heliculus属(クルマガイ科)		
	73	スズメノチャヒキ				11	Patelloida属		
	74	セイバンモロコシ				12	アオウミウシ		
	75	セイヨウカラシナ				13	アオガイ		
	76	センダン				14	アオガイ属		
	77	タネツケバナ				15	アカエラミノウミウシ		
	78	タラ				16	アカニシ		
	79	ダンチク				17	アカボシウミウシ		
	80	チガヤ				18	アシヤガイ		
	81	ツルナ				19	アマオブネガイ		
	82	ツルニチニチソウ				20	アマガイ		
	83	ツワブキ				21	アマクサアメフラシ		
	84	テリハノイバラ				22	アメフラシ		
	85	トウネズミモチ				23	アラムシロガイ	C	
	86	トゲジヤ				24	アラレタマキビガイ		
	87	ナガバキシギシ				25	イシダタミガイ		
	88	ナガミノオニシバ				26	イシマキガイ	C	
	89	ナガミヒナゲシ				27	イズミミドリガイ		
	90	ナルトサワギク				28	イソニナ		
	91	ナンキンハゼ				29	イトカケギリ属		
	92	ネズミホソムギ				30	イボウミナ	B	
	93	ネズミモチ				31	イボキサゴ	A	
	94	ノイバラ				32	イボサンショウガイモドキ		
	95	ノゲシ				33	イボニシ		
	96	ノミノツヅリ				34	ウスコミミガイ	C	
	97	ノランジン				35	ウネイトカケギリ		
	98	ハマアカザ				36	ウネボラ		
	99	ハマウド				37	ウノアシガイ		
	100	ハマエノコロ				38	ウミナメクジ	C	
	101	ハマエンドウ				39	ウミニナ	C	
	102	ハマオモト				40	エドイトカケギリ		
	103	ハマゴウ				41	エドガワミズゴマツボ	B	
	104	ハマサジ				42	エビスガイ		
	105	ハマスゲ				43	オオヘビガイ		
	106	ハマダイコン				44	オカダウミウシ		
	107	ハマツメクサ				45	オトメウミウシ		
	108	ハマナデシコ				46	オトメガサ		
	109	ハマヒルガオ				47	オニノツノガイ属		
	110	ハマボウ				48	カスリアオガイ		
	111	ハマボウフウ			49	カノコガイ	B		
	112	ハマボッス			50	カラスキセワタ			
	113	ハママツナ			51	カラマツガイ			
	114	ヒメクマツヅラ			52	カワザンショウガイ	C		
	115	ヒメジョオン			53	キクノハナガイ			
	116	ヒルザキツキミノソウ			54	キヌハダウミウシ			
	117	ヘクソカズラ			55	キリオレガイ属			
	118	ヘラオオハコ			56	クチキレガイ			
	119	ホウキギク			57	クボガイ			
	120	ホコガタアカザ			58	クモリアオガイ			
	121	ホソバハマアカザ			59	クロコソデウミウシ			
	122	ホナガイヌビユ			60	クロシタナシウミウシ			
	123	マサキ			61	クロスジムシロガイ近似種			
	124	マツヨイグサ属			62	クロツケガイ			
	125	ママコシリヌグイ			63	クロヘリアメフラシ			
	126	マメゲンバイナズナ			64	クロミドリガイ			
	127	ミツバアケビ			65	コウダカアオガイ			
	128	ムクノキ			66	コシダカガンガラ			
	129	ムベ			67	コビトウラウスガイ			

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。
 3) : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

表1(3) 令和4年度出現種一覧

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL				
貝類(続き)	巻き貝類(続き)	68	コペルトカニモリガイ		貝類(続き)	二枚貝類(続き)	148	ヒメカノアサリ	C		
		69	コメツブガイ				149	ヒメシラトリガイ	C		
		70	コモレビコガモガイ				150	ホトギスガイ			
		71	シボリガイ	C			151	ホンビノスガイ			
		72	シマハマツボ				152	マガキ			
		73	シマメノウフネガイ				153	マツカゼガイ			
		74	シロイトカケギ				154	マテガイ	C		
		75	シロウミウシ				155	マルミエガイ			
		76	スオウクチケレガイ				156	ミドリイガイ			
		77	スガイ				157	ミミエガイ			
		78	スカシガイ科				158	ムラサキイガイ			
		79	スズメハマツボ				159	ユウシオガイ	C		
		80	タマキガイ				多毛類	1	Amphitrite属		
		81	タマツボ					2	Eulalia属		
		82	チグサガイ					3	Harmothoe属		
		83	ツノアカニシ					4	Myrianida属		
		84	ツボミガイ	B				5	Polydora属		
		85	ツメタガイ	C				6	Schistomerings属		
		86	ツメナリミヤコドリガイ					7	Streblosoma属		
		87	トトロウミウシ					8	Thelepus属		
		88	スカルミクチケレガイ					9	アシナガゴカイ		
		89	ヒメコザラガイ					10	アミオニスビオ		
		90	ヒメコメツブガイ					11	イソタマシキゴカイ	A	
		91	ヒメネジガイ					12	イトゴカイ科		
		92	ヒメムシロガイ					13	イワムシ		
		93	ヒメヨウラクガイ					14	ウズマキゴカイ科		
		94	ヒラミドリガイ					15	ウミイサゴムシ科		
		95	フタイロミノウミウシ					16	ウミケムシ		
		96	フタオビイトカケギ					17	ウロコムシ科		
		97	ブドウガイ					18	エソカサネカンザシゴカイ		
		98	フトヘナタリ	C				19	オニスビオ属		
		99	ヘコミツラガイ					20	オノミチチロリ		
		100	ヘソアキウボガイ					21	オヨギゴカイ科		
		101	ヘナタリ	B				22	カサネカンザシゴカイ		
		102	ホソウミニナ	C				23	カサネシリス		
		103	ホソスジアオガイ					24	カニヤドリカンザシゴカイ		
		104	マダラウミウシ					25	カワゴカイ属		
		105	マツバガイ					26	カンザシゴカイ科		
		106	マツモウミウシ	B				27	クマノアシツキ		
		107	マルウスラタマキビガイ	C				28	ケヤリムシ		
		108	ミノウミウシ					29	ケヤリムシ科		
		109	ミヤコドリガイ	C				30	ゴカイ科		
		110	ムギガイ					31	コガネウロコムシ科		
		111	ムシロガイ					32	サミドリサシバゴカイ		
		112	メリベウミウシ					33	サンハチウロコムシ		
		113	メリベウミウシ属					34	シライトゴカイ		
		114	モロハタマキビ	B				35	スピオ科		
		115	ヤツデヒトデヤドリニナ					36	タマシキゴカイ	C	
		116	ヨコスジタマキビモドキ					37	タマシキゴカイ科		
		117	ヨメガカサガイ					38	ナデシコカンザシゴカイ		
		118	レイシガイ					39	ナナテイスメ科		
		二枚貝類	119	Diplodonta属(フタバシラガイ近似種)					40	マサゴカイ	
			120	アオカリガネエガイ					41	ミズヒキゴカイ	
			121	アサリ					42	ミズヒキゴカイ科	
			122	イワガキ				C	43	ミロクウロコムシ	
			123	ウスカラシオツガイ					44	ムツエダカンザシゴカイ	
			124	ウチムラサキガイ					45	ヤッコカンザシゴカイ	
			125	ウネナシトマヤガイ					46	ヤマトカワゴカイ	
			126	エガイ属					47	多毛類	
			127	オオノガイ			C	ヨコエビ・ワレカラ類	1	Monoecorophium属	
			128	カリガネエガイ					2	アリアケドロクダムシ	
			129	キクザルガイ					3	ウエノドロクダムシ	
			130	キヌマトイガイ					4	ウミモワレカラ	
			131	クジャクガイ					5	オオワレカラ	
			132	クチバガイ			C		6	クピナガワレカラ	
			133	クログチガイ			B		7	トゲワレカラ	
			134	ケガキ					8	トンガリドロクダムシ	
			135	ケストリガイ					9	ニホンドロソコエビ	
			136	コウロエンカワヒバリガイ					10	ハマトビムシ科	
			137	サクラガイ			B		11	ヒゲナガヨコエビ属	
			138	シズクガイ					12	フサゲモクズ	
			139	セミアサリ					13	ボシットケオヨコエビ	
			140	ソトオリガイ			B		14	マルエラワレカラ	
			141	タマエガイ					15	メリタヨコエビ属	
			142	トマヤガイ					16	モズミヨコエビ	
			143	ナミマガシワガイ					17	ヒメハマトビムシ種群	
			144	ニッポンマアゲマキガイ			B		18	ワレカラ属	
			145	バカガイ			C		19	ワレカラ類	
			146	ヒバリガイ					20	ヨコエビ類	
			147	ヒメアサリ							

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウェルカムリストの区分を示す。
 3) : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

表1(4) 令和4年度出現種一覧

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	
フジツボ類	1	アメリカフジツボ		魚類(続き)	21	カタクチイワシ		
	2	イワフジツボ			22	カワハギ		
	3	カメノテ			23	キチヌ		
	4	クロフジツボ			24	キヌカジカ		
	5	サンカクフジツボ			25	キュウセン		
	6	シロスジフジツボ			26	キリンアナハゼ		
	7	タテジマフジツボ			27	クサフグ		
	8	ドロフジツボ			28	クジメ		
	9	ヨーロッパフジツボ			29	クロウシノシタ		
ヤドカリ類	1	イソカニダマシ			30	クロサギ科		
	2	イソヨコバサミ			31	クロソイ		
	3	ケアシホンヤドカリ			32	クロダイ		
	4	ケブカヒメヨコバサミ			33	コモンフグ		
	5	コフヨコバサミ	C		34	コンゴウフグ		
	6	テナガツノヤドカリ	C		35	ゴンズイ		
	7	トゲツノヤドカリ			36	サラサカジカ		
	8	ヒラトゲガニ			37	シロギス		
	9	フトウテネジレカニダマシ			38	シロサバフグ		
	10	ホンヤドカリ			39	シロメバル		
	11	ユビナガホンヤドカリ			40	スズキ		
	12	ヨモキホンヤドカリ			41	スズメダイ		
カニ類	1	アカテガニ	C		42	セトヌメリ		
	2	アシハラガニ	C		43	ダイナンギンボ		
	3	イシガニ			44	タケギンボ		
	4	イソガニ			45	タケノコメバル		
	5	イッカククモガニ			46	テチフ		
	6	ウモレマメガニ	B		47	トビヌメリ		
	7	オウギガニ			48	ドロメ		
	8	オサガニ	C		49	ナベカ		
	9	カクベンケイガニ			50	ナルトビエイ		
	10	ガザミ			51	ニクハゼ		
	11	キンセンガニ	C		52	ニジギンボ		
	12	クロベンケイガニ			53	ハオコゼ		
	13	ケフサイソガニ			54	ハゼ科		
	14	コメツキガニ	C		55	ヒイラギ		
	15	シワオウギガニ			56	ヒガンフグ		
	16	スナガニ	C		57	ヒメハゼ		
	17	スネナガイソガニ	C		58	ヒラメ		
	18	タイワンガザミ			59	ベニツケギンボ		
	19	タカノケフサイソガニ			60	ヘビギンボ		
	20	チチュウカイミドリガニ			61	ボラ		
	21	トガリオウギガニ			62	ホンペラ		
	22	トリウミアカイソモドキ	B		63	マコガレイ		
	23	ハクセンシオマネキ	C		64	マダイ		
	24	ハマガニ	C		65	マタナゴ		
	25	ヒメアカイソガニ			66	マハゼ		
	26	ヒメアシハラガニ	B		67	ミズハゼ属		
	27	ヒメケブカガニ			68	ムスジガジ		
	28	ヒメベンケイガニ			69	ムラソイ		
	29	ヒライソガニ			70	メジナ		
	30	ヒライソガニ属(ケアシヒライソガニ)	C		71	メジナ属		
	31	フタバカクガニ	C		72	メバル属		
	32	フタバベニツケガニ			73	メバル属(ムラソイ種群)		
	33	ベンケイガニ	C		74	ヨウジウオ		
	34	マキトラノオガニ	A		昆虫類	1	ウミベアカバハネカクシ	
	35	マメコブシガニ	C			2	オオスナゴミムシダマシ	
	36	モクズガニ				3	カマキリタマゴカツオブシムシ	
	37	ヤマトオサガニ	C			4	キタキチョウ	
	38	ユビアカベンケイガニ	C			5	トビムシ類	
	39	ヨツハモガニ				6	ヒメジュウジナガカメムシ	
1	アイナメ		7			モンシロチョウ		
2	アオタナゴ		8			ヨモキハムシ		
3	アカエイ		9			ムラサキウミトビムシ		
4	アゴハゼ		鳥類		1	アオサギ		
5	アサヒアナハゼ				2	ウミネコ		
6	アナハゼ				3	カワウ		
7	アナハゼ属				4	キアシシギ		
8	アミメハギ				5	コアジサシ		
9	アユ				6	コサギ		
10	イサキ				7	コチドリ		
11	イシガレイ				8	シロチドリ		
12	イソギンボ				9	ダイサギ		
13	イソミズハゼ				10	ミスゴ		
14	イダテギンボ		両生類		1	ウシガエル		
15	ウミタナゴ			2	ヌマガエル			
16	ウミタナゴ属		その他	カイメン類	1	Haliclona takaharu		
17	オクヨウジ				2	Protosuberites属		
18	オニオコゼ				3	Pseudosuberites kunisakiensis		
19	オヤビツチャ				4	イソカイメン科		
20	カサゴ				5	イソカイメン属		

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。
 3) : 種まで同定されていないもの(種数に含めない)。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする。

表1(5) 令和4年度出現種一覧

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL	
その他(続き)	カイメン類(続き)	6 カワナシカイメン属		
		7 クロイソカイメン		
		8 ケツボカイメン科		
		9 コエダカイメン		
		10 ダイダイイソカイメン		
		11 ナミイソカイメン		
		12 ムラサキカイメン		
		クラゲ類	13 アカクラゲ	
			14 アサガオクラゲ科	
			15 ウリクラゲ	
			16 エダアソクラゲ	
	17 カギノテクラゲ			
	18 カブクラゲ			
	19 ミズクラゲ			
	20 軟クラゲ目			
	21 ウミサカヅキガヤ科			
	ヒドロ虫類	22 カザリクラゲ		
		23 シロガヤ属		
		24 ヒドロ虫綱		
		イソギンチャク類	26 イソギンチャク目	
	25 ウメボシイソギンチャク科			
	27 タデジマイソギンチャク			
	28 チギレイソギンチャク			
	29 ヒメイソギンチャク			
	30 ベリルイソギンチャク			
	31 ミドリイソギンチャク			
	32 ヨロイソギンチャク			
	33 ヨロイソギンチャク属			
	ヒラムシ類		34 ウスヒラムシ	
			35 ツノヒラムシ	
			36 ヒラムシ目	
			37 ミノヒラムシ	
	ヒモムシ類	38 Cephalothrix属		
		39 Evelineus mcintoshii		
		40 ミドリヒモムシ		
		41 リネウス属		
		42 ヒモムシ類		
		43 Phoronis属		
	ホウキムシ類	44 シヤミセンガイ属	B	
		45 スズメガイダマシ		
	コケムシ類	46 Bugulina stolonifera		
		47 サラコケムシ科		
		48 チゴケムシ		
		49 フサコケムシ		
		50 フサコケムシ属		
		51 ホソフサコケムシ		
		52 モンゴチコケムシ		
		頭足類	53 ヒメイカ	C
	54 マダコ			
	ホシムシ類	55 スジホシムシシモドキ	C	
	ミミズ類	56 イソミミズ		
	クモ類	57 イソハエトリグモ		
	ウミグモ類	58 チビカニノテウミグモ		
	等脚類	59 イソコツブムシ属		
		60 イソヘラムシ		
		61 コツブムシ科		
		62 シリケンウミセミ		
		63 スナホリムシ属		
		64 スナモグリノエラヤドリ		
		65 ニホンコツブムシ		
		66 ヒメスナホリムシ		
		67 フクロムシ		
		68 フナムシ		
		69 ヘラムシ科		
	タナイス類	70 キスイタナイス		
		71 タナイス科		
	アナジャコ類	72 ニホンスナモグリ	C	
		73 ハサミジャコエビ	C	
		74 ハルマンスナモグリ	C	
	エビ類	75 アカシマモエビ		
		76 アンナガスジエビ		
		77 イソテッポウエビ種群		
		78 イソモエビ		
		79 エビジャコ属		
		80 クルマエビ	C	
		81 コシマガリモエビ	C	
		82 スジエビモドキ		
		83 スジエビ属		
		84 セジロムラサキエビ		
		85 テッポウエビ	C	

分類群	No.	和名(種名)/ 地点	WL
その他(続き)	エビ類(続き)	86 テッポウエビ属	
		87 テナガエビ属	
		88 ホソモエビ	
		89 ユビナガスジエビ	
		90 ヨシエビ	C
	ウミシダ類	91 トラフウミシダ	
	ヒトデ類	92 イトマキヒトデ	
		93 キヒトデ(マヒトデ)	
		94 チビイトマキヒトデ	
		95 トゲモミジガイ	
		96 スノメイトマキヒトデ	
		97 ヒメヒトデ	
		98 モミジガイ	
		99 ヤツデヒトデ	
		100 カキクモヒトデ	
	クモヒトデ類	101 ダイリンチビクモヒトデ	
		102 ナガトゲクモヒトデ	
		103 ニホンクモヒトデ	
	ウニ類	104 アカウニ	
		105 サンショウウニ	
		106 パフンウニ	
		107 ムラサキウニ	
	ナマコ類	108 アカナマコ	
		109 ヒモイカリナマコ	C
110 マナマコ			
ホヤ類	111 Botrylloides praelongus		
	112 Botrylloides属		
	113 イタボヤ科		
	114 エボヤ		
	115 カタユウレイボヤ		
	116 ザラボヤ		
	117 シモフリボヤ		
	118 シロウスボヤ		
	119 シロボヤ		
	120 シロボヤモドキ		
	121 フタスジボヤ		
	122 ペニボヤモドキ		
	123 ミハエルボヤ		
	124 ユウレイボヤ		

注) 1) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。アルファベットは先頭。
 2) WL 欄は大阪湾海岸生物ウエルカムリストの区分を示す。
 3) : 種まで同定されていないもの(種数に含めない。ただし、カニ類のヒライソガニ属は単一種とする)。

3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

3-1. 令和4年度結果

調査シート掲載種の調査箇所別出現状況を表2に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 調査シート掲載種の調査箇所別出現状況（令和4年度）

分類群	No.	和名 地点	地点No.																							出現頻度	
			① アジュール舞子	② 須磨海岸	④ 兵庫運河（2箇所）	⑤ 住吉川河口	⑥ 香櫨園浜	⑦ 甲子園浜	⑧ 天保山	⑨ 堺浜自然再生ふれあいビーチ	⑩ 浜寺水路	⑪ 高師浜	⑫ 大津川河口（左岸）	⑬ 阪南2区造成干潟	⑭ 近木川河口	⑮ 櫻井川河口・岡田浦海岸	⑯ 男里川河口干潟（3箇所）	⑰ 尾崎海岸	⑱ 波有手海岸	⑲ 西島取海岸（2箇所）	⑳ 箱作自然海岸	㉑ せんなん里海公園	㉒ 長松海岸	㉓ 深日漁港干潟	㉔ 城ヶ崎（加太）		㉕ 成ヶ島
海藻類	緑藻類	1 アノアオサ	●	●	●																						16
		2 スシアオノリ																									
	紅藻類	3 オヨノリ	●		●																						10
植物		1 オカヒジキ																									10
	2 コウボウムギ	●																									4
	3 ハマウド																										6
	4 ハマゴウ	●																									7
	5 ハマダイコン																										10
	6 ハマボウフウ	●																									7
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキガイ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
		2 イシマキガイ(C)				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
		3 イボニシ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20
		4 タマキガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
		5 フレイトアマメフラン(C)																									0
	二枚貝類	6 アサリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16
		7 ウスカラシオツガイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
		8 ウネナシトマヤガイ																									8
		9 クチハガイ(C)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
		10 ケガキ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9
		11 コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
		12 マガキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20
		13 ムラサキイガイ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8
フジツボ類	1 アカフジツボ																									0	
	2 アメリカフジツボ																									11	
	3 クロフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
	4 シロヌシフジツボ																									6	
	5 タテシマフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13	
	6 ドロフジツボ																									4	
	7 ヨーロッパフジツボ																									9	
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
	2 ユピナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20	
カニ類	1 アカテガニ(C)																									2	
	2 アシハラガニ(C)																									2	
	3 イソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
	4 オウギガニ	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4	
	5 クロベンケイガニ																									3	
	6 ケフサイソガニ																									13	
	7 スナガニ(C)																									3	
	8 タカノケフサイソガニ																									11	
	9 チチュウカイミドリガニ																									3	
	10 ハクセンシオマネキ(C)																									8	
	11 ヒラソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	
	12 ヤマトオサガニ(C)																									2	
その他	1 多毛類		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	17	
	2 ヨコエビ類		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	20	
種類数(●)			12	15	24	19	20	24	9	13	13	18	17	12	25	17	29	11	11	13	12	14	13	11	9	23	41

- 注) 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)。
 2) 種類の記載順は各分類群の中で五十音順。
 3) 地点 No.31,34 はいずれも近傍2地点を統合した。
 4) 地点 No.13 は近傍3地点を統合した。
 5) 網掛けセルは大阪湾海岸生物ウェルカムリスト(2022年版)の種で、()内はランクを示す。

調査シートのリスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図5に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、ユビナガホンヤドカリ、イボニシ、マガキは24地点中いずれも20地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではアラレタマキビガイ、ヒライソガニ、タマキビガイ、アナアオサ、アサリが16～19地点で、河口型の生物ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが11～13地点で確認されました。なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）のうちアカフジツボ、フレリトゲアメフラシを除く35種がいずれかの地点で確認されました。

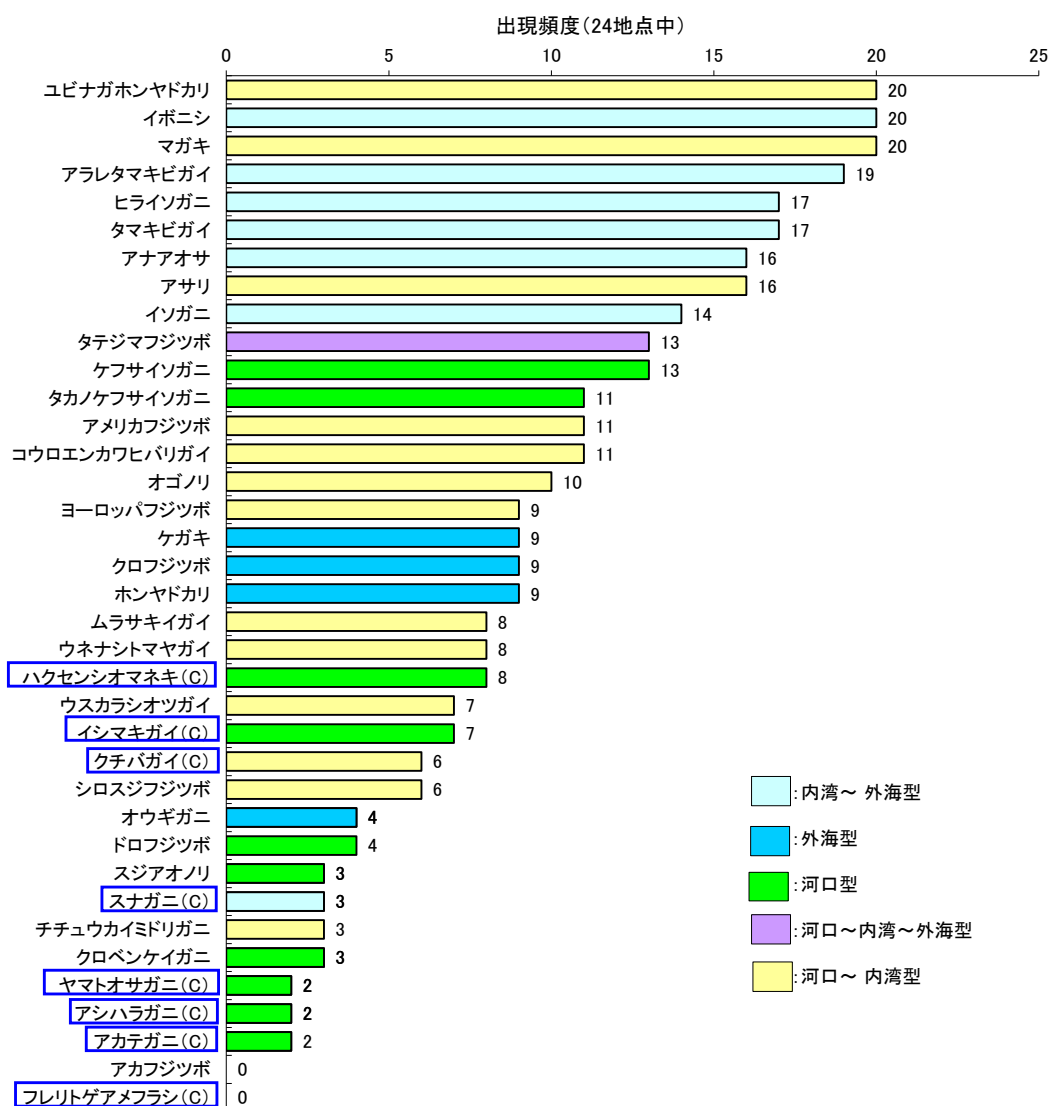
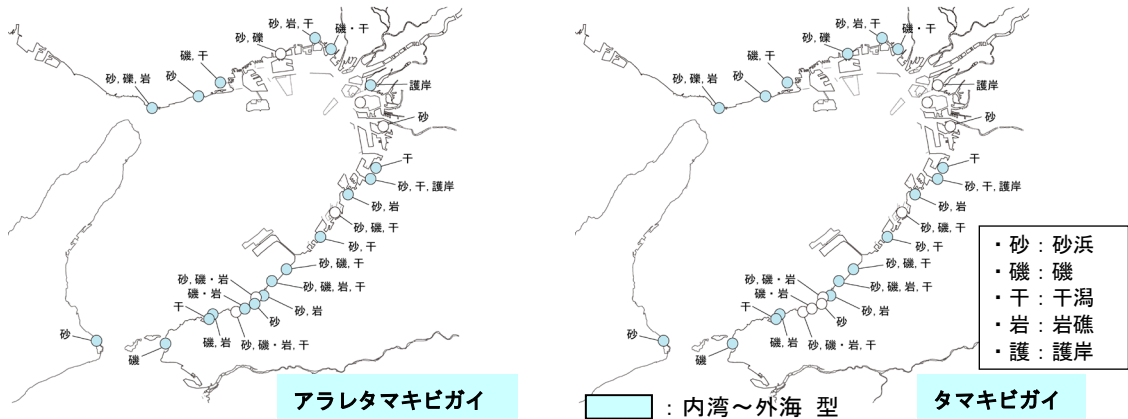


図5 調査シート掲載種の生態型と出現頻度（令和4年度）

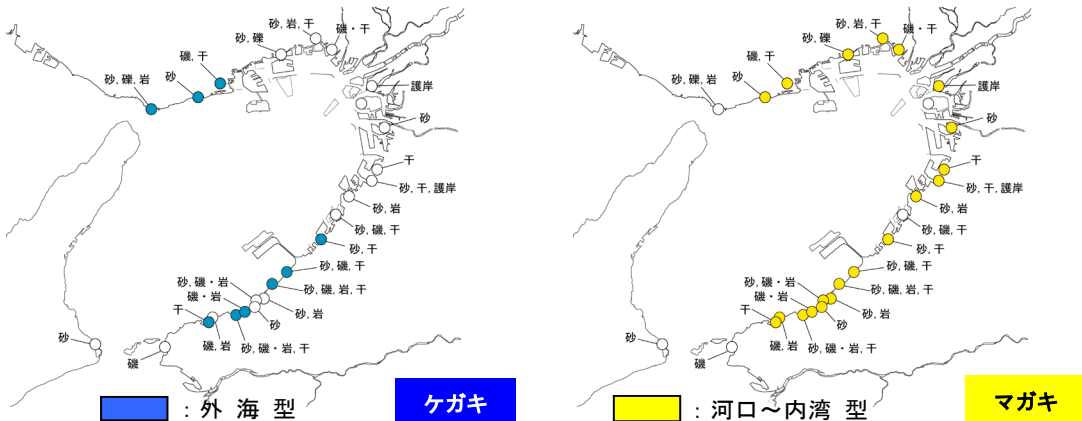
調査シートのリスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図6(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型で、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、本年も静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは、例年では、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現していましたが、本年は波有手海岸～せんなん里海公園までの海岸沿いの地点では出現しませんでした。



- 外海型のケガキは湾中央域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、兵庫運河一榎井川河口・岡田浦海岸ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

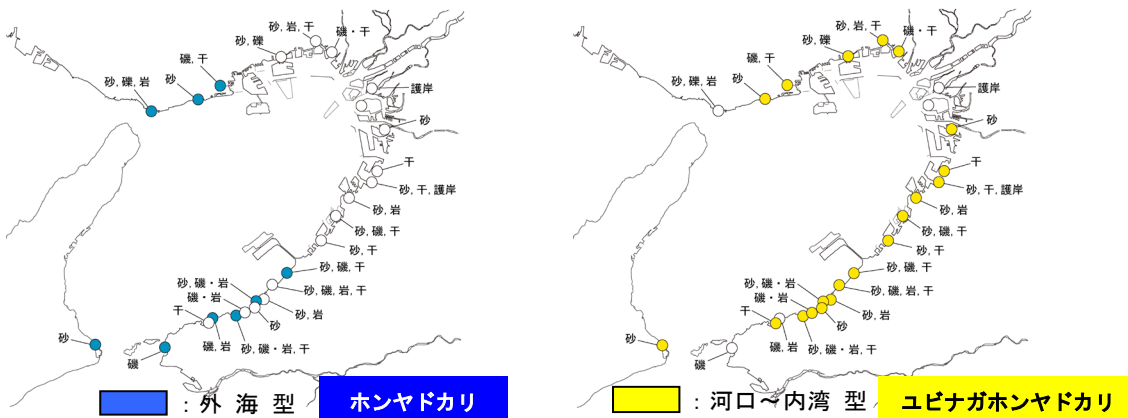
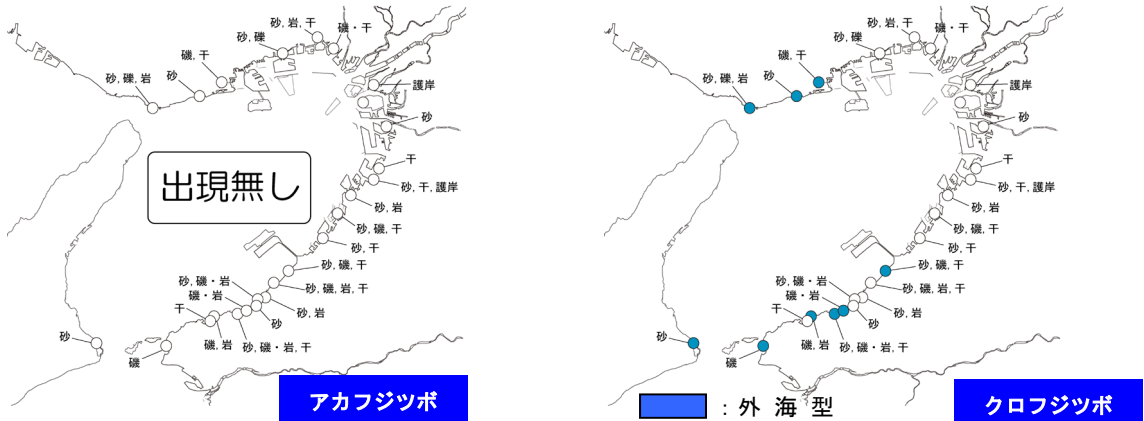


図6(1) 代表的な種の分布(貝類、ヤドカリ類)ー令和4年度

フジツボ類

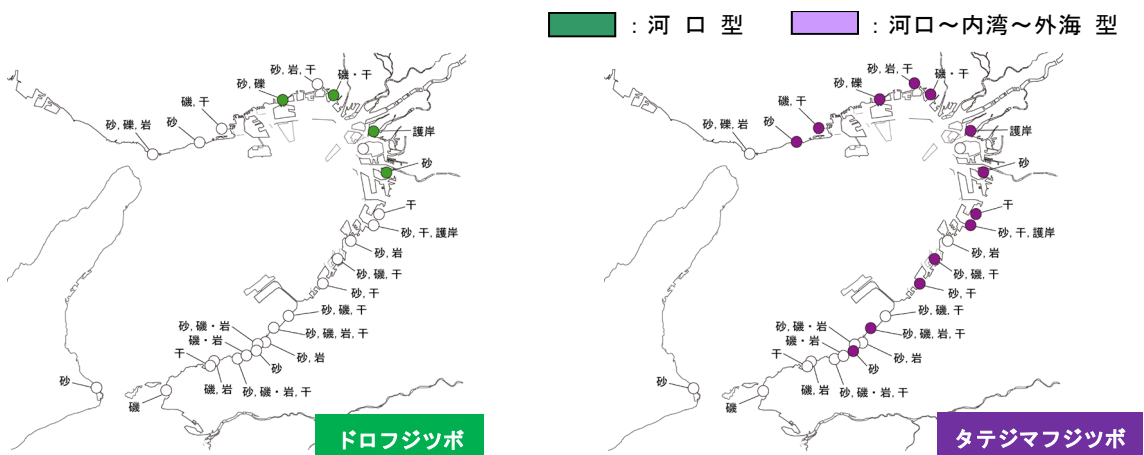
- 本年度は、外海型のアカフジツボは出現しませんでした。クロフジツボは兵庫運河～榎井川河口・岡田浦海岸ラインより湾口側で出現しました。



- 河口～内湾型のアメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボは湾中央～湾奥部で出現し、シロスジフジツボは主に運河・河口地点で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口～湾奥部の多くの地点で出現しました。



- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図6 (2) 代表的な種の分布 (フジツボ類) - 令和4年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニは、主に湾中央～湾奥の砂浜がある地点で出現しました。

砂浜に生息する



□ : 内湾～外海 型

スナガニ (C)

- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは主に大津川・男里川などの河口や泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の河口地点で出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



ヤマトオサガニ (C)



ハクセンシオマネキ (C)

■ : 河口型

- アシハラガニは泥質干潟のある地点で出現しました。クロベンケイガニとアカテガニは干潟と後背地がある地点で出現しました。いずれも少ない地点数でした。

砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



アシハラガニ (C)



クロベンケイガニ



アカテガニ (C)

■ : 河口型

図6 (3) 代表的な種の分布 (カニ類) - 令和4年度

外来種

- ミドリイガイは浜寺水路のみで出現しました。ミドリイガイは主に潮間帯下部～潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは兵庫県側の須磨海岸～甲子園浜で連続して出現しましたが、大阪府側では浜寺水路、高師浜及び男里川河口干潟の3地点のみでした。

□ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中央～湾奥にかけて広く出現しましたが、チチュウカイミドリガニは湾奥部の少ない地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシは、昨年に引き続き確認されませんでした。カニヤドリカンザシゴカイは香櫨園浜と兵庫運河の2地点で出現しました。河口～内湾型のウスカラシオツガイは湾中央～湾奥部と、大阪府側の湾口寄りのせんなん里海で出現しました。



□ : 河口型

□ : 河口～内湾 型

図6(4) 代表的な種の分布(外来種)ー令和4年度

3-2. 過年度との比較

調査シートのリスト掲載種について、平成 20～30 年度及び令和元～4 年度の調査結果を併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度の調査シート掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更している場合や、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

令和 2 年度以降の調査については、新型コロナウイルスの感染防止のため、調査時期が地点毎に異なっている場合や、調査人数を制限している場合があります。

このため、15 年間の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数が近似しており、同様の種が確認されている場合が多いため、各調査地点における安定した出現特性が分かるようになってきました。

表3(3) 調査シートのリスト掲載種の地点別出現状況(平成20~30、令和元~4年)

分類群	調査地点	調査地点No. 9		10							11			12							13			33		25			26				31		32																																									
		30	元	2	3	4	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	4	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	30	元	2	3	4																																					
海藻類	緑藻類	アナオサ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
	紅藻類	スジアオノリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																				
		オゴノリ																																																																										
植物	オカヒジキ																																																																											
	コウボウムギ																																																																											
	ハマウド																																																																											
	ハマゴウ																																																																											
	ハマダイコン																																																																											
	ハマボウフウ																																																																											
貝類	巻き貝類	アラレタマキビガイ																																																																										
		イシマキガイ(C)																																																																										
		イボニシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																				
		タマキビガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																			
		フレイトゲアメフラシ(C)																																																																										
	二枚貝類	アサリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																				
		ウスカラシオツガイ																																																																										
		ウネナシトマヤガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																			
		クチバガイ(C)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																			
		ケガキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																			
フジツボ類	アカフジツボ																																																																											
	アメリカフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
	クロフジツボ																																																																											
	シロスジフジツボ																																																																											
	タテジマフジツボ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																				
	ドロフジツボ																																																																											
ヤドカリ類	ホンヤドカリ																																																																											
	ユビナガホンヤドカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
カニ類	アカテガニ(C)																																																																											
	アシハラガニ(C)																																																																											
	イソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
	オウギガニ																																																																											
	クロベンケイガニ																																																																											
	ケサイソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
	スナガニ(C)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																						
	タカノケサイソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																						
	チチュウカイミドリガニ																																																																											
	ハクセンシオマネキ(C)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
	ヒライソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																					
その他	ヤマトオサガニ(C)																																																																											
	多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																						
	ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□																																					
種類数(●の数)		17	11	14	12	12	17	19	23	25	24	24	26	28	27	25	27	24	25	10	12	15	11	26	24	30	27	29	27	29	22	29	21	21	21	17	27	25	20	19	26	13	19	19	21	19	23	7	26	29	8	11	11	17	13	13	16	12	11	15	14	19	24	16	6	4	11	23	16	12	4	13	18	8	4	12

注: 1) ●: 種まで同定されたもの。 □: 種まで同定されていないもの(種数に含めない)。出現頻度欄の“-”は対象外を示す。
 2) 種名は各生物群中で五十音順。淡紫色網掛けは大阪湾海岸生物ウエルカムリスト該当種を示し、()内はそのランクを示す。
 3) 平成20年度のリスト掲載種で出現せず、21年度ではリストから削除したヒトエグサ、ホンビノスガイ及びミナトオウギガニおよび、21年度にリストに追加したが確認されず22年にリストから削除したサキグロタマツメタの計4種については省略した。
 4) 平成22年度の近木川河口については、両岸・左岸合体見直しで、クチバガイとヒライソガニが追加され、24種となった。
 5) 大津川河口については、平成22年度までは右岸干潟で実施したが、23年度以降は通行不可のため左岸で実施した。津田川河口と茶屋川河口は平成20年に1回、海老江干潟は平成21、28年の2回のみのため、本経年表では省略した。
 6) 平成27年度は地点No.26波有手海岸とNo.27深日漁港干潟、平成28年度はNo.29諏訪森海岸、平成29年度はNo.30浜寺水路、平成30年度はNo.31西鳥取海岸とNo.32箱作海岸、令和元年度はNo.33尾崎漁港西浜、令和2年度はNo.34兵庫運河を、それぞれ追加した。
 7) 令和2年度は、No.34兵庫運河(新川橋河口)、No.2香榎園浜、No.20天保山、No.6野鳥園臨港緑地、No.13男里川河口干潟、No.26波有手海岸、No.31西鳥取海岸、No.32箱作自然海岸、No.14せんなん里海公園、及びNo.23長松海岸については春季(5~6月)に、No.21須磨海岸、No.34兵庫運河(材木橋)、No.3甲子園浜、No.4矢倉海岸、No.30浜寺水路、No.7高師浜、No.8大津川河口、及びNo.9阪南二区造成干潟については春季以外(7~10月)に実施された結果を示す。
 8) 令和3年度は、No.3甲子園浜、No.34兵庫運河についてはいずれも近傍地点の調査結果、No.13男里川河口干潟、No.25尾崎海岸については2団体以上の調査結果を統合した。
 9) 令和4年度は、No.31西鳥取海岸、No.34兵庫運河についてはいずれも近傍地点の2地点を、No.13男里川河口干潟については3団体の調査結果を統合した。

付表1(1) 令和4年度貴重種の出現状況一覧

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省版 RL 3)	水産庁 RDB 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	【参考】大阪湾ウエ ルカムリスト 7)	
海藻類	1	スジアオノリ				減少傾向				
	2	ホソアヤギス	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧				B	
海草類 植物 (調査シート掲載種)	1	アマモ		アマモ場(生態系):A					C	
	1	コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類						
	2	ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類						
	3	ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類						
貝類	巻き貝類	1	アカニシ			減少	危険			
		2	アマガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		3	イシマキガイ				減少			C
		4	イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類	B
		5	イボキサゴ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	A
		6	ウスコミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
		7	ウネイトカケギリ			準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		8	ウネボラ			絶滅危惧ⅠB類				
		9	ウミナメクジ		情報不足			危険		C
		10	ウミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧	C
		11	エドイトカケギリ			準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		12	エドガワミズゴマツボ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	B
		13	カノコガイ	要注目				希少		B
		14	カラスキセフタ					危険		
		15	カワザンショウガイ		準絶滅危惧					C
		16	クチケレガイ		情報不足					
		17	クロドリガイ					危険		
		18	シボリガイ		準絶滅危惧					C
		19	シロイトカケギリ		情報不足					
		20	スオウクチケレガイ			準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		21	ツボミガイ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	B
		22	ヌカルミクチケレガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
		23	フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
		24	ヘナタリ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	B
		25	ホソウミナ		絶滅危惧Ⅰ類					C
		26	マルウズラタマキビガイ					危険		C
		27	ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	C
		28	ムシロガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
		29	モロハタマキビ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	B
	二枚貝類	30	イワガキ			減少傾向			C	
		31	ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧	危険			
		32	オオノガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	危険	準絶滅危惧	C	
		33	クチバガイ			準絶滅危惧			C	
		34	サクラガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		準絶滅危惧	B	
		35	ソトオリガイ		準絶滅危惧		危険		B	
		36	ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧		準絶滅危惧	B	
		37	バカガイ		準絶滅危惧				C	
		38	ヒメアサリ		準絶滅危惧					
		39	ヒメカノアサリ		準絶滅危惧				C	
		40	マツカゼガイ		準絶滅危惧					
		41	マテガイ	要注目	準絶滅危惧				C	
		42	ユウシオガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	危険	準絶滅危惧	C	
多毛類		1	イソタマシキゴカイ		情報不足			希少		A
	2	カサネシリス		情報不足						
	3	カワゴカイ属	(準絶滅危惧)							
	4	タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					C	
	5	ヤマトカワゴカイ	(準絶滅危惧)*1	情報不足						
ヨコエビ・ワレカラ類	1	ウエノドロクダムシ		情報不足						
ヤドカリ類	1	テナガツノヤドカリ			情報不足(海2017)			準絶滅危惧	C	
	2	ヨモギホンヤドカリ			準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧		
カニ類	1	アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						C	
	2	アシハラガニ	(準絶滅危惧)						C	
	3	ウモレマメガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類(海2017)		状況不明	絶滅危惧Ⅱ類	B	
	4	オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	C	
	5	キンセンガニ		準絶滅危惧					C	
	6	クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)							
	7	コメツキガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					C	
	8	スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					C	
	9	スナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧	C	

付表1(2) 令和4年度貴重種の出現状況一覧

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省版 RL 3)	水産庁 RDB 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	【参考】大阪湾ウエ ルカムリスト 7)
カニ類(続き)	10	トリウミアカイソノモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧(海2017)		危険	準絶滅危惧	B
	11	ハウセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	C
	12	ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	C
	13	ヒメアシハラガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧(海2017)			準絶滅危惧	B
	14	フタバカクガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						C
	15	ベンケイガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧(海2017)			絶滅危惧Ⅱ類	C
	16	マキトラノオガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			希少		A
	17	マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	C
	18	モクズガニ				減少傾向			
	19	ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)						C
魚類	1	アイナメ			地域個体群(海2017)				
	2	アユ		準絶滅危惧					
	3	タケノコメバル			準絶滅危惧(海2017)				
	4	ナルトビエイ			準絶滅危惧(海2017)				
その他	腕足類	1	シャミセンガイ属	(絶滅危惧Ⅰ類)					B
	頭足類	2	ヒメイカ		絶滅危惧Ⅱ類		減少		C
	ホシムシ類	3	スジホシムシモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧	普通/希少	準絶滅危惧	C
	アナジャコ類	4	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類				C
		5	ハサミシヤコエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				C
		6	ハルマンスナモグリ	(絶滅危惧Ⅱ類)	絶滅危惧Ⅱ類				C
	エビ類	7	エビジャコ属	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		8	クルマエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				C
		9	テッポウエビ	(準絶滅危惧)					C
	ウニ類	10	アカウニ				減少傾向		
	ナマコ類	11	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			危険	C

注)

1) 兵庫県版 レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2020(植物・植物群落)、兵庫県版レッドデータブック2017(魚類)
()は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリに置換したものである。

2) 大阪府 レッドリスト2014

3) 環境省 レッドリスト(2020)、海洋生物レッドリスト(2017)

4) 水産庁. 1998. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック 社団法人日本水産資源保護協会. 437pp. 東京.
評価「普通」は省略した。

5) WWF Japan Science Reprint vol.3.1996.

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック-. 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.

7) 大阪湾海岸生物ウエルカムリスト(無脊椎動物・海藻・海草、2022年版)は1)~6)で選定した貴重種について該当状況を示した。区分は以下のとおりである。

A: 大阪湾内では近年(1950年代以降)の記録が無い(ただし近隣海域では記録されている)種。あるいは記録がごく限られていて、生育・生息基盤が脆弱であると考えられる種。[目安として、文献等による記録・情報が0-2箇所以下]

B: 大阪湾内では産地が限られていて、今後分布の拡大が期待される種。[同3-5箇所]

C: 大阪湾内では多数の地点で記録され、かつ良好な環境(水質・底質・地形)の目安となる種。[同6箇所以上]

8) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物植物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

9) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧Ⅰ類: 現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧Ⅱ類: 現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。

準絶滅危惧: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足: 評価するだけの情報が不足している種。

地域個体群: 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

要注目種(兵庫): 最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫): 環境省レッドデータブックの情報不足に相当。兵庫県において評価するに足るデータがない種。

要注目種(大阪): 「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁): 長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁): 明らかに減少しているもの。

希少(水産庁): 存続基盤が脆弱な種・亜種。

危険(水産庁): 絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF): 絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。

希少(WWF): 特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。「普通/希少」は地域により評価が異なる場合。

普通/希少(WWF): 地域により状況が異なる。

10) 表中網掛けは、評価指定後、今年度初確認の貴重種を示す。

11) 貴重種記載資料の該当府県の場所では出現していない場合もある。

*1) カワゴカイ属で記載されている。「カワゴカイ属」と重複するが、いずれも貴重種としてカウントした。

4. 調査テーマ「海藻（地点毎に多く確認された種）」の結果

今年度の調査では海藻（地点毎に多く確認された種）について注目しました。

調査シートのリスト掲載種について、アナアオサは湾奥を除く多くの地点で、スジアオノリは3地点（甲子園浜、近木川河口、尾崎海岸）で、オゴノリは須磨海岸と住吉川河口、阪南2区造成干潟より湾口側の多くの地点で確認されました。なお、オゴノリは砂～砂泥地の干潟が残っている場所に生息しやすいものの、今回は湾奥では出現しませんでした。アナアオサもほぼ近似した出現状況でした。

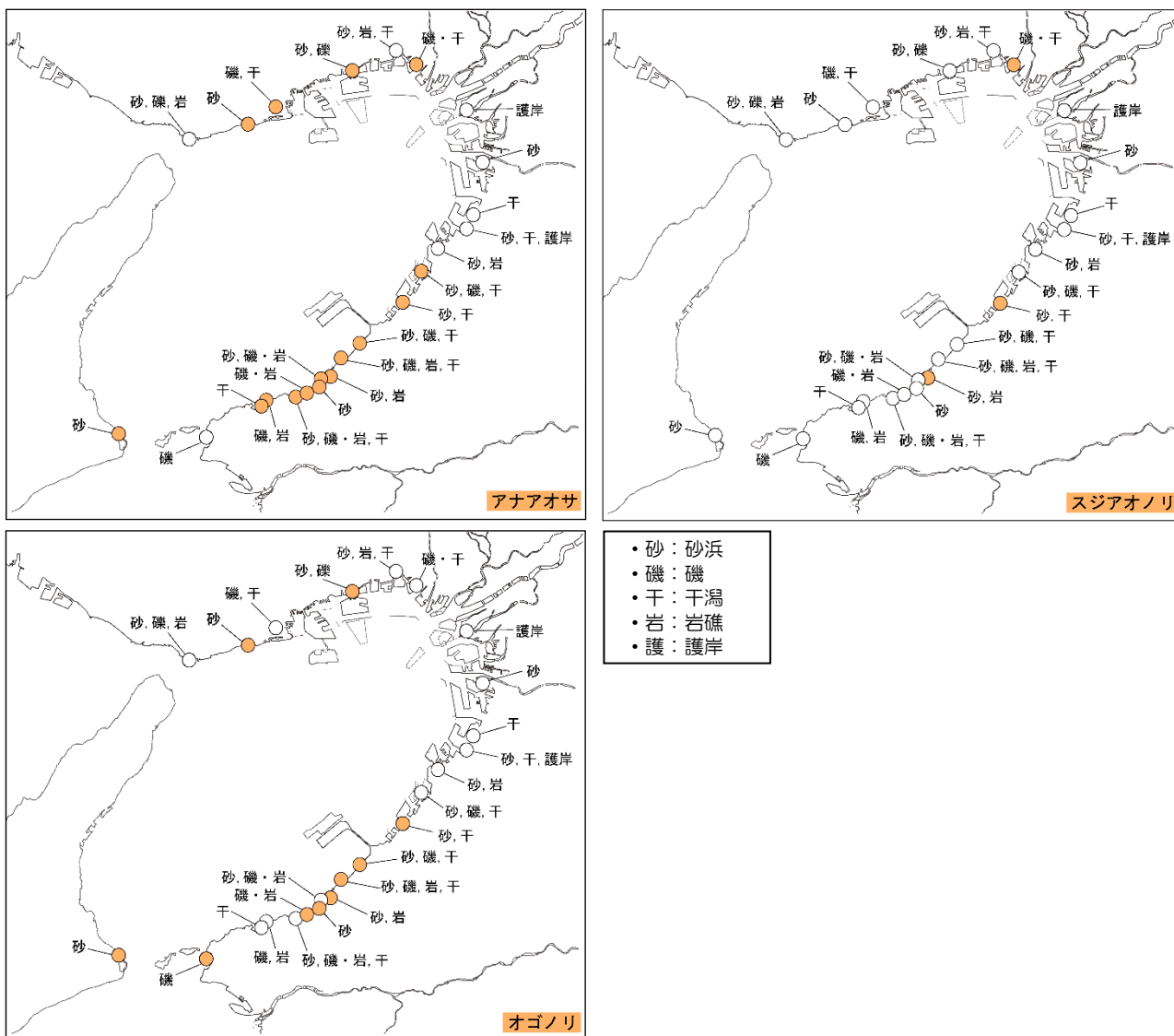


図5 アナアオサ、スジアオノリ、オゴノリの出現状況（令和4年度）

5. スナメリ調査

5月11日に下図に示す経路で調査を実施しました。

阪南市沖で3群6頭を確認しました。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする
ことがなくなりました。

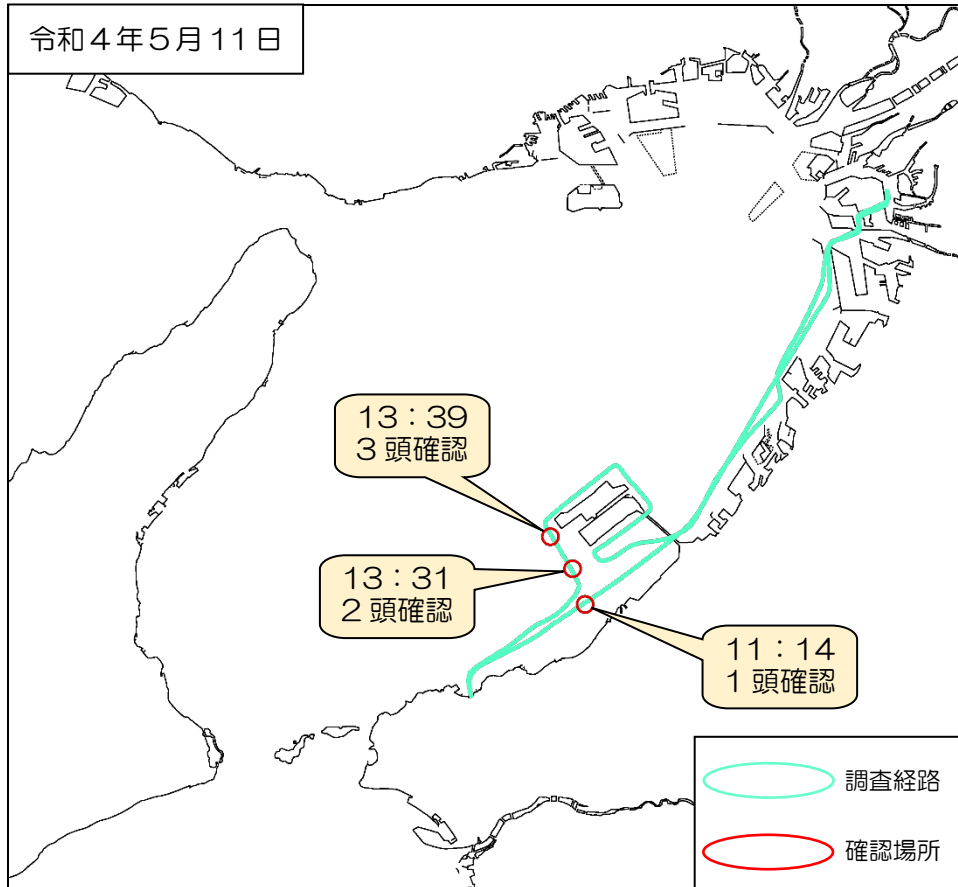


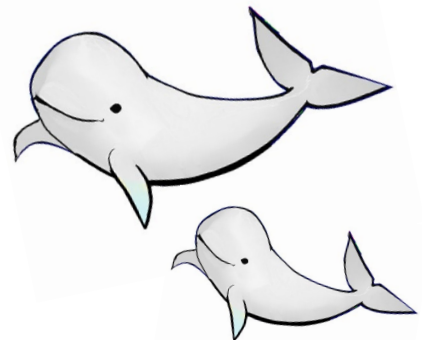
図6 スナメリ調査の経路と確認状況（令和4年5月11日）

【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



【変更履歴】

2026.3 P02 コメントの変更
2026.3 P19 付表1（1）の差し替え
2026.3 P20 付表1（2）の差し替え